

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書

建設課  
145p

大事業名	土地改良事務事業	款		項		目	
		農林水産業費		農業費		農地費	

総合まちづくり計画	基本指針	2	未来の活力を生み出す“しごとづくり”	関連指標	
	基本施策	4	地域産業を元気にする6次産業化		
	施策	18	新しい農業でつくる「とよのブランド」		
個別計画					

1.概要

事業内容	大阪府土地改良事業団体連合会及び大阪府ため池総合整備推進協議会への負担金の支払い。
対象	大阪府土地改良事業団体連合会・大阪府ため池総合整備促進協議会
意図・目的	効率的な土地改良事務及び農業土木事務を行う。 土地改良事務・ため池の適切な管理。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 土地改良事務事業	土地改良事務全般及び農業土木事務の円滑な推進を図る。	206	492	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

大阪府土地改良事業団体連合会及び大阪府ため池総合整備推進協議会の負担であり、その運営に寄与した。
--

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	

5.総合評価

<b>A</b>	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
----------	---

6.改善の方向性

--

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 建設課  
決算書 153p

大事業名	土木事務事業	款 項 目		
		土木費	土木管理費	土木総務費

総合まちづくり計画	基本指針	3	緑の中で楽しく暮らせる“まちづくり”	関連指標
	基本施策	1	住民のQoL向上をめざしたコンパクトなまちづくり	
	施策	22	安全・安心なまちの基盤整備	
個別計画				

1.概要

事業内容	土木事務、公用車管理に係る経費の執行。
対象	住民及び職員
意図・目的	効率的な土木事務の執行。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 土木事務事業	土木事業に係る事務の執行。 土木事業に係る事務の適正・効率的な執行を図ることができる。	1,179	2,019	0
2 地籍調査推進事業	毎筆の土地について、その所有者、地番、地目、境界及び地積に関する調査を行い、地籍図及び地籍簿を作成する。	4,237	6,322	5,400

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

<ul style="list-style-type: none"> <li>土木事務事業について、事務事業、工事、現場対応で適正に効率的な執行ができた。</li> <li>ときわ台五丁目地区（地区面積：0.04km<sup>2</sup>）での地籍調査事業について、昨年度に実施した境界確認等の立会や一筆地測量に基づいて地積簿及び地籍図を作成した。その後実施した閲覧においては、全170筆において誤り等の申出もなく、適切に事業を進めることができた。</li> </ul>
--

4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	費用対効果		
現状の課題	進捗管理	無	地籍調査事業は専門的な知識を要する事業であるため、業務を担うことができる職員の育成と適切な人員を確保することが今後の課題である。	適当な人材や体制を確保することが困難であるため
	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無	地籍調査事業は専門的な知識を要する事業であるため、業務を担うことができる職員の育成と適切な人員を確保することが今後の課題である。	適当な人材や体制を確保することが困難であるため
	事業内容	有		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	<p>A：各小事業について計画どおりに進めることが必要</p> <p>B：小事業について、事業の進め方に改善が必要</p> <p>C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要</p> <p>D：大事業全体の抜本的な見直しが必要</p>
---	--

6.改善の方向性

--

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書

建設課  
155p

大事業名	土木災害予防事業	款	項	目
		土木費	土木管理費	土木総務費

総合まちづくり計画	基本指針	3	緑の中で楽しく暮らせる“まちづくり”	総合戦略 避けることができない未来に備える 地域包括ケアと連携したまちづくりの推進
	基本施策	1	住民のQoL向上をめざしたコンパクトなまちづくり	
	施策	22	安全・安心なまちの基盤整備	
個別計画				

1.概要

事業内容	土石流テレメータ、土砂災害情報相互通報システムの維持・運用等。
対象	土石流テレメータ、土砂災害情報相互通報システム
意図・目的	地域の防災力の向上。 急傾斜地崩壊対策区域の住民の安全・安心な暮らしの確保に寄与できる。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 土木災害予防事業	町内及び広域の防災環境を維持・整備することにより、地域の防災力を向上させる。 土石流テレメータ、土砂災害情報相互通報システムの維持・運用により、地域防災力の向上に資することができる。	1,492	1,494	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

雨量計の情報や土砂災害相互情報通報システムの活用により、防災部局と建設部局で情報が共有でき、必要時の防災体制を円滑に行い、情報収集・警戒本部体制・現場確認・避難等の判断などに役立てることができた。また、住民周知の面ではリアルタイムな雨量表示をホームページでお知らせし、予測情報を提供できた。急傾斜地・がけ地支援事業については、行政連絡協議会や広報とよので周知を行った。

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理 無	システムの老朽化。	導入年度、平成17年度（関連補助金なし）
	事業内容 有		
	費用対効果 無		
中長期的な課題	進捗管理 無	関係部局とのシステムの拡充及び関係部署所管の他システムとの整合。設備の更新。	設備の補助金要望
	事業内容 有		
	費用対効果 無		

5.総合評価

**B**

A：各小事業について計画どおりに進めることが必要  
 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要  
 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要  
 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

大阪府のシステムの活用。

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 建設課  
決算書 155p

大事業名	町道維持管理事業	項		
		土木費	道路橋梁費	道路維持費

総合まちづくり計画	基本指針	3	緑の中で楽しく暮らせる“まちづくり”	関連指標
	基本施策	1	住民のQoL向上をめざしたコンパクトなまちづくり	
	施策	22	安全・安心なまちの基盤整備	
個別計画				

1.概要

事業内容	町道等の機能、安全性を維持・確保するための清掃、凍結防止剤の散布等。
対象	町道等
意図・目的	町道等の機能、安全性を維持・確保し、町内・町外の各地域のつながりの強化を図る。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 町道維持管理事業	町道等の機能、安全性の維持確保を図る。	5,567	5,055	0
2 町道等維持補修事業	町道等の維持補修を実施する。 町道等の機能を維持し、住民の生活基盤を支えるとともに、町内・広域のネットワークを発展させ、魅力ある町づくりにつなげることができる。	23,848	16,833	1,458
3 法定外公共物維持管理補助事業	里道等の生活道を維持し、住民の暮らしを支える。	2,204	3,514	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

町道を常時維持管理することにより住民生活の安心安全に寄与した。町道維持に関する業務全般について円滑に実施することができた。  
 なお、法定外公共物維持管理補助事業の実績については、以下のとおり。  
 交付件数：2件  
 総交付額：1,725,000円

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	・予算の確保が困難。 ・応急処置で経過観察が必要。
	事業内容	有	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	無	・住民の高齢化により、維持管理が困難となってきている。 ・施設の老朽化による維持管理の増大。
	事業内容	無	
	費用対効果	無	

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

道路パトロールをはじめ、他の業務の移動時等を利用し、町道に対して住民や交通等に支障がないか注視する。情報を入手した際は迅速に対応する。  
 課内での情報の共有化。

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 建設課  
決算書 155p

大事業名	交通安全施設整備事業	款	項	目
		土木費	道路橋梁費	道路維持費

総合まちづくり計画	基本指針	3	緑の中で楽しく暮らせる“まちづくり”	関連指標
	基本施策	1	住民のQoL向上をめざしたコンパクトなまちづくり	
	施策	22	安全・安心なまちの基盤整備	
個別計画				

1.概要

事業内容	街路灯等の維持・管理を行う。
対象	交通安全施設
意図・目的	交通安全対策の推進。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 交通安全施設整備事業	交通安全施設整備により、交通安全対策を推進する。 街路灯の維持・管理を行い、交通安全対策を推進することができる。	8,853	8,956	346

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

LED道路灯のリース料及び維持管理を行った。
------------------------

4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	事業内容		
現状の課題	有	無	交通安全施設の維持管理費の増。	要望の多様化、施設の老朽化。
	無	有		
	有	無		
中長期的な課題	有	無	施設の更新に対する費用の確保。	予算確保。
	無	有		
	有	無		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

交通安全確保のため、関係部局との連携強化。町全体が安全対策に対し積極的に取り組む。
---

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書

建設課  
157p

大事業名	光風台駅前エスカレーター管理運用事業	款	項	目
		土木費	道路橋梁費	道路維持費

総合まちづくり計画	基本指針	3	緑の中で楽しく暮らせる“まちづくり”	関連指標
	基本施策	1	住民のQoL向上をめざしたコンパクトなまちづくり	
	施策	21	快適で住みやすい環境の整備	
個別計画				

1.概要

事業内容	光風台駅前エスカレーターの保守管理及び監視。
対象	光風台駅前エスカレーター
意図・目的	魅力ある町づくり、住み続けたいくなる住環境の整備。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 光風台駅前エスカレーター管理運用事業	光風台駅前エスカレーターの適正な日常管理及び監視。 光風台駅前エスカレーターの保守管理及び監視を行い、交通の利便を向上させ、魅力ある町づくりにつなげる。	10,115	5,287	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

エスカレーターの定期的な点検を行い、適正な維持管理を行った。
--------------------------------

4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	事業内容		
現状の課題	有	無	緊急時の体制の構築。	無人施設であること。
	無	無		
	無	無		
中長期的な課題	無	有	利用者の満足度や費用対効果の再検討。メンテナンスサイクルが短いことによる維持管理費用の増大。	利用者の減少。
	有	有		
	有	有		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

不具合が生じたときの連絡体制やマニュアルの構築。
--------------------------

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書

建設課  
157p

大事業名	道路舗装事業	目		
		款 土木費	項 道路橋梁費	目 道路舗装費

総合まちづくり計画	基本指針	3	緑の中で楽しく暮らせる“まちづくり”	関連指標
	基本施策	1	住民のQoL向上をめざしたコンパクトなまちづくり	
	施策	22	安全・安心なまちの基盤整備	
個別計画	町道舗装個別施設計画			

1.概要

事業内容	舗装構成の改良。
対象	町道
意図・目的	交通の円滑化を図る。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 道路舗装事業	舗装の打ち替え等の最適化を行うことで、交通の円滑化を図る。 舗装の「復旧」を行うことで、交通に係る現状を維持するとともに、泥はね・騒音を防ぎ良好な住環境を構築することができる。	62,368	50,127	50,127

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

個別施設計画に基づき車道部の舗装・修繕を行い、騒音・振動を抑え、車両の走行しやすい道路空間を確保できた。  
 ・吉川中央線（光風台地区）A=1,770㎡  
 ・希望ヶ丘中央線 A=1,580㎡  
 ・ときわ台東2号線（東ときわ台地区） A=598㎡

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	有	舗装の修繕（維持管理）を目的とした工事では、国の重点施策から外れており交付金の内示が低い。
	事業内容	有	
	費用対効果	有	
中長期的な課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

国からの交付金が年々減少しているが、限られた予算の中、優先順位をつけて対策を行っていく。

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 建設課  
決算書 157p

大事業名	橋梁長寿命化等事業	款 項 目		
		土木費	道路橋梁費	道路改良費

総合まちづくり計画	基本指針	3	緑の中で楽しく暮らせる“まちづくり”	関連指標
	基本施策	1	住民のQoL向上をめざしたコンパクトなまちづくり	
	施策	22	安全・安心なまちの基盤整備	
個別計画	橋梁長寿命化修繕計画			

1.概要

事業内容	町内橋梁の点検・修繕等
対象	町内の橋梁
意図・目的	安全で安心して通行できる生活道路の確保。 町内橋梁の点検・修繕を行うことによるインフラの維持を図り、町民の生活の安定に寄与することができる。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 橋梁長寿命化等事業	町内橋梁の点検・修繕により、安全で安心して通行できる道路を整備するとともに、有事の際の生活道路の確保を図る。	46,440	68,035	56,535

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

橋梁長寿命化修繕計画に基づき策定した橋梁個別施設計画にしたがって、橋梁の老朽化対策を行った。また5年に1度の法令定期点検の2巡目を行った。  
 【老朽化対策】  
 ・補修工事（光風台大橋 2カ年工事の1年目、小玉橋）  
 【橋梁点検】  
 ・15橋（光風台地区ほか）

4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	事業内容		
現状の課題	有	無	修繕費用の増大。	大規模橋梁（光風台大橋）の修繕時期にあること。
	無	有		
	有	無		
中長期的な課題	有	無	修繕に対する補助金の条件が厳しくなってくる。担当技術者不足。	費用の縮減に繋がる新技術・新工法の活用や短期的目標を計画し、実施する必要があること。現在、橋梁に関する技術者1名のみ。
	無	有		
	有	無		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

老朽化対策費用は補助制度を活用しているため、適切な計画策定・執行を行い、国質の確保に努める。長寿命化修繕計画を法令点検頻度に合わせて更新・見直しを行い、修繕費用の平準化により予算の確保と予防保全による対応で費用の縮減を図る。技術者不足には、地域連携プラットフォームを活用し、点検から修繕への一括委



令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書

建設課  
157p

大事業名	通学路等交通安全整備 事業	款	項	目
		土木費	道路橋梁費	交通安全施設整備費

総合まちづくり計画	基本指針	3	緑の中で楽しく暮らせる“まちづくり”	関連指標	総合計画
	基本施策	1	住民のQoL向上をめざしたコンパクトなまちづくり		交通安全施設の整備箇所200箇所
	施策	22	安全・安心なまちの基盤整備		
個別計画	道路反射鏡修繕計画				

1.概要

事業内容	通学路に関する交通安全施設の総点検、区画線設置、カーブミラー・ガードパイプ設置等
対象	住民
意図・目的	通学路等に関する交通安全の確保。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 通学路等交通安全整備事業	通学路等に関する交通安全施設の総点検を行うとともに必要な交通安全施設の整備を行う。交通安全・防犯の一助となり、安全・安心のまちづくりに寄与する。	7,769	1,206	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

自治会要望があり、道路反射鏡の取替工事を行った。 ・道路反射鏡設置 1基 地域の要望により、道路側溝の開口部に蓋をした。 ・排水構造物工 L=10.7m
---

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	事業内容		
現状の課題	無	有	交通安全施設の維持管理費の増。歩道の幅員が狭隘。歩道と車道の摺り付け部の段差大。	施設の老朽化。既存不適格。
	無	無		
	無	有		
中長期的な課題	無	有	施設の更新に対する費用の確保。	予算確保。
	無	無		
	無	無		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

通学路等の交通安全確保のため、関係部局との連携強化。町全体が安全対策に対し積極的に取り組む。
--

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書

建設課  
159p

大事業名	河川治水対策事業	款	項	目
		土木費	河川費	河川維持費

総合まちづくり計画	基本指針	3	緑の中で楽しく暮らせる“まちづくり”	関連指標
	基本施策	1	住民のQoL向上をめざしたコンパクトなまちづくり	
	施策	22	安全・安心なまちの基盤整備	
個別計画				

1.概要

事業内容	準用河川、普通河川の除草・清掃を行う。
対象	住民
意図・目的	治水機能を維持・向上させる。 ゲリラ豪雨等、過去においては想定できなかった自然災害の増加と、それに伴う河川環境整備に対する住民要望の増加。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 河川治水対策事業	町管理の準用河川、普通河川の治水機能を維持・向上させるため、清掃を実施する。 準用河川、普通河川の除草・清掃を行うことにより、治水機能を維持・向上させ、近年増加する自然災害防止に資する。	3,163	3,139	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

準用河川等の適正な維持管理を実施し、住民の安全に寄与することができた。
-------------------------------------

4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	費用対効果		
現状の課題	進捗管理	無	準用河川以外の水路（旧普通河川）の補修が困難。	維持管理に関する予算の不足。
	事業内容	有		
	費用対効果	有		
中長期的な課題	進捗管理	無	施設の老朽化。	予算的に維持管理補修及びその費用が確保できない
	事業内容	有		
	費用対効果	有		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

河川の維持管理に関する交付金等の新設を要望していく。
----------------------------

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書

建設課  
161p

大事業名	都市計画策定・運用事業	款	項	目
		土木費	都市計画費	都市計画費

総合まちづくり計画	基本指針	3	緑の中で楽しく暮らせる“まちづくり”	関連指標
	基本施策	1	住民のQoL向上をめざしたコンパクトなまちづくり	
	施策	21	快適で住みやすい環境の整備	
個別計画				

1.概要

事業内容	都市計画街路事業に係る事務の執行。
対象	大阪府都市計画街路事業促進協議会
意図・目的	府内の都市計画街路事業の促進並びに相互の密接な連絡を図る。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 都市計画策定・運用事業	事業促進のための要望及び宣伝広報、都市間相互の連絡調整会議の開催。	5	5	5

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から協議会等は書面開催。
--------------------------------

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	事業内容		
現状の課題	無	無		
	無	無		
	無	無		
中長期的な課題	無	無		
	無	無		
	無	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

--

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書

建設課  
205p

大事業名	耕地災害復旧事業	目		
		款	項	目
		災害復旧費	農林水産施設災害復旧費	耕地災害復旧費

総合まちづくり計画	基本指針	3	緑の中で楽しく暮らせる“まちづくり”	関連指標
	基本施策	1	住民のQoL向上をめざしたコンパクトなまちづくり	
	施策	22	安全・安心なまちの基盤整備	
個別計画				

1.概要

事業内容	被災した農地、水路・農道等農業用施設の復旧
対象	受益者
意図・目的	被災した農地農業用施設の復旧を図ることにより、耕作者の安定した農作物の確保に資する。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 耕地災害復旧事業	農地及び農業用施設の復旧工事。	51,478	9,825	4,257

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・早期に復旧することにより、町の農業基盤の安定に寄与した。</li> <li>・災害復旧事業を活用することで、被災者の経済的負担が軽減した。</li> <li>・農地・農業用施設災害復旧工事。</li> </ul>
--

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員不足。</li> </ul>
	事業内容	有	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	無	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲリラ豪雨など、発生回数の増加。</li> </ul>
	事業内容	有	
	費用対効果	無	

5.総合評価

B	<ul style="list-style-type: none"> <li>A：各小事業について計画どおりに進めることが必要</li> <li>B：小事業について、事業の進め方に改善が必要</li> <li>C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要</li> <li>D：大事業全体の抜本的な見直しが必要</li> </ul>
---	---

6.改善の方向性

<p>農地及び農業用施設の適正な維持管理に関する啓発を行い、災害を最小限にとどめる。</p>
--

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 都市計画課  
決算書 129p

大事業名	下水道事業特別会計繰出 金事業	款 項 目		
		衛生費	保健衛生費	保健衛生総務費

総合まちづくり計画	基本指針	3	緑の中で楽しく暮らせる“まちづくり”	関連指標
	基本施策	1	住民のQoL向上をめざしたコンパクトなまちづくり	
	施策	22	安全・安心なまちの基盤整備	
個別計画				

1.概要

事業内容	基準内繰出については、総務省通知「地方公営企業繰出金について」に従い繰り出す。
対象	下水道事業特別会計
意図・目的	下水道事業（浄化槽管理・整備）の円滑な運営を図るため、元利償還金の費用と財源不足分を一般会計から繰り出す。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 下水道事業特別会計繰出 金事業（浄化槽管理・整備分）	下水道事業（浄化槽管理・整備）の円滑な運営を図るため、元利償還金の費用と財源不足分を一般会計から繰り出す。	9,551	9,743	0
2 下水道事業特別会計繰出 金事業（浄化槽管理・整備分）（臨時）	下水道事業（浄化槽管理・整備）の円滑な運営を図るため、元利償還金以外に係る補てん分として一般会計から繰り出す。	10	50	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

・元利償還金に関するもの	5,134,704円
・元利償還金以外に関する補てん金	4,657,736円
	(9,792,440円)

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	費用対効果		
現状の課題	無	無		
	無	無		
	無	無		
中長期的な課題	無	無		
	無	無		
	無	無		

5.総合評価

<b>A</b>	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
----------	---

6.改善の方向性

--

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 都市計画課  
決算書 137p

大事業名	上水道事業補助事業		款	項	目
			衛生費	保健衛生費	上水道費
総合まちづくり計画	基本指針	3	緑の中で楽しく暮らせる“まちづくり”		
	基本施策	1	住民のQoL向上をめざしたコンパクトなまちづくり		
	施策	22	安全・安心なまちの基盤整備		
個別計画					

1.概要

事業内容	①旧簡易水道事業における起債に対する元利償還金の2分の1 ②旧簡易水道事業地方債特別措置分の元利償還金の全額 ③一庫ダム管理負担金のうち都市用水施設税にかかる負担金 ④企業団統合にかかる事業運営補助金（29,500千円×20年）
対象	大阪広域水道企業団豊能水道センター
意図・目的	水道料金に転嫁することが合理性に欠く経費について繰出しを行い、安定的な企業運営を確保すること。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 上水道事業補助事業	地方公営企業に対する繰出基準に基づく繰出。料金で賄うべき費用のみを対象とした料金設定を行うことにより、水道利用者に対し理解の得られる料金となる。事業団統合時に供給単価上昇を抑制するため、平成31年度より20年間毎年29,500千円を補助する。	76,192	68,769	29,500
2 上水道事業補助事業（臨時）	新型コロナウイルス感染症対策による水道料金の基本料金減免。水道管が埋設されている土地について、町が負担すべき所有者に支払う使用料。	21,420	65,387	64,330

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

・統合前、簡易水道事業元利償還金	35,769,275円
・統合前、簡易水道事業元利償還金（臨時措置分）	1,152,092円
・一庫ダム管理負担金固定資産税相当分	2,347,400円
・統合に係る申し合わせ書による繰り出し金	29,500,000円 (68,768,767円)
・新型コロナウイルス感染症対策	64,330,420円
・土地使用料	1,056,210円 (65,386,630円)

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

--

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 都市計画課  
決算書 157p

大事業名	公営住宅管理事業		款	項	目
			土木費	住宅費	住宅管理費
総合まちづくり計画	基本指針	3	緑の中で楽しく暮らせる“まちづくり”		
	基本施策	1	住民のQoL向上をめざしたコンパクトなまちづくり		
	施策	22	安全・安心なまちの基盤整備		
個別計画					

1.概要

事業内容	町営住宅の修繕、受水の清掃（委託）等。
対象	住民
意図・目的	町営住宅の維持・管理を行い、町内における住環境を整備する。 町営住宅の経年劣化。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 公営住宅管理事業	町営住宅の維持・管理を行うことにより、住環境整備を行い、現在の居住者の満足度の向上に資する。	204	386	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

管理人として、日ごろから入居者とコミュニケーションを図り、住宅の不具合に対して適切に維持管理することができた。  
また、建築基準法に基づく法定点検や、水道法に基づく貯水槽の清掃と消毒を実施し、入居者の安全安心に務めることができた。

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	入居者の収入、住宅の経過年数等により家賃を算定するため、どうしても安い家賃設定となる。
	事業内容	無	
	費用対効果	有	
中長期的な課題	進捗管理	有	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町営住宅に入居したいなどの問い合わせがない。</li> <li>・本町の持ち家率が約9.6%。</li> <li>・空き室のある町営住宅が利便性の低い場所にある。</li> </ul>
	事業内容	有	
	費用対効果	有	

5.総合評価

**B**

A：各小事業について計画どおりに進めることが必要  
B：小事業について、事業の進め方に改善が必要  
C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要  
D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

・余野住宅4戸（空き家3戸）と吉川住宅1戸については、耐用年数（30年）を越えているため、現入居者が退去された時点で用途廃止を行い除去する。

・野間口住宅16戸については、耐用年数（70年）まで23年残っているが、現在2世帯しか入居しておらず、過去に入居募集を5年続けて行ったが、応募件数は0件であった。また、入居条件を満たす方からの入居に関する問い合わせもないため、今後は野間口住宅のあり方について、大阪府と情報交換しながら類似事例等を探り検討する。

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書  
都市計画課  
159p

大事業名	建築物管理事業	款	項	目
		土木費	都市計画費	都市計画総務費

総合まちづくり計画	基本指針	3	緑の中で楽しく暮らせる“まちづくり”	関連指標
	基本施策	1	住民のQoL向上をめざしたコンパクトなまちづくり	
	施策	22	安全・安心なまちの基盤整備	
個別計画				

1.概要

事業内容	建築基準法等の管理事務、町有建築物の管理設計に係る調整。
対象	住民
意図・目的	建築基準法や建築協定等の適正な執行。 町内に散見される違法建築物件への対処に係る調整。

2.構成事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 建築物管理事業	建築基準法や建築協定等に基づく管理事務を執行するとともに、町有建築物の管理、設計に係る調整を行う。 建築基準法、建築協定等の適切な執行を図るとともに、町有建築物の管理・設計に係る調整を行うことにより都市基盤の維持と整備並びに安心して住まうことができる環境整備に資する。	676	1,285	1,085

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

- ・豊能町耐震改修促進計画等に基づき、民間建築物の耐震性の向上を図るため、耐震化を促進する個別相談会の開催や補助事業を実施し、耐震化を図ることができた。
- ・建築協定地区での勉強会やクレーム対応の相談にのり、建築協定の普及啓発に努めることができた。
- ・建築協定申請の經由事務や公共建築物の営繕業務に従事し、関係法令の遵守に努めることができた。

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	有	①建物所有者の耐震に関する情報及び認識不足に加え、耐震化に伴う費用や労力の負担大 ②合意協定にも関わらず建築協定地区に住む方たちの違反行為が目立つ
	事業内容	有	
	費用対効果	有	
中長期的な課題	進捗管理	有	①昭和56年5月以前に建築されている旧耐震基準の家屋の所有者が高齢になっており、今更高額な費用をかけてまで耐震補強工事をしようという意欲が低い。 ②建築協定というルールが地区住民に浸透していない。
	事業内容	有	
	費用対効果	有	

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

- ・旧耐震基準の家屋については、戸別訪問やダイレクトメールなどを送付し、更なる啓発に努める。
- ・耐震セミナーや個別相談会を開催し、リフォームを考えている方にも、安全、安心の耐震リフォームを周知する。
- ・建築協定委員会の総会や役員会へ引き続き町も参加し「建築協定とは」をテーマに趣旨説明を行い、普及啓発に努める。



令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 都市計画課  
決算書 161p

大事業名	下水道事業特別会計繰出 金事業	款	土木費	項	都市計画費	目	都市計画総務費
------	--------------------	---	-----	---	-------	---	---------

総合まちづくり計画	基本指針	3	緑の中で楽しく暮らせる“まちづくり”	関連指標
	基本施策	1	住民のQoL向上をめざしたコンパクトなまちづくり	
	施策	22	安全・安心なまちの基盤整備	
個別計画				

1.概要

事業内容	基準内繰出については、総務省通知「地方公営企業繰出金について」に従い繰り出す。
対象	下水道事業特別会計
意図・目的	下水道事業における一般会計の役割を明確にするとともに、同事業の円滑な経営の一助となるよう資金を繰り出す。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 下水道事業特別会計繰出金事業	下水道事業の円滑な経営を図るため、下水道事業における町が負担すべき費用を一般会計から繰り出す。	78,188	91,113	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

・交付税に関するもの	77,597,801円
・雨水対策	4,015,000円
・児童手当	140,000円
・兼務職員人件費	9,359,762円
	(91,112,563円)

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

--

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 都市計画課  
決算書 161p

大事業名	都市計画策定・運用事業	款	項	目
		土木費	都市計画費	都市計画費

総合まちづくり計画	基本指針	2	未来の活力を生み出す“しごとづくり”	関連指標
	基本施策	1	まちで働く人を応援	
	施策	12	賑わいを呼ぶ沿道整備	
個別計画	豊能町都市計画マスタープラン 豊能町空家等対策計画			

1.概要

事業内容	都市計画に係る事務の執行及び都市計画審議会の運営。
対象	住民
意図・目的	現在及び将来に向けて適正な都市計画に基づいて魅力ある町づくりを図る。 用途地域に係る制限、市街化調整区域に関する規制等の周知。特に市街化調整区域に関する規制は、「魅力ある町づくり」と相反する関係でもある。

2.構成事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 都市計画策定・運用事業	都市計画法等に基づく管理事務を執行するとともに、都市計画審議会の有為的な運営に努める。 魅力ある町づくりと都市計画法等に基づく管理との調整を図るとともに、法規制的確な執行により、魅力ある町づくりに向けて指針整備を行える。	39	203	41
2 空家対策推進事業	町の空家等対策計画に基づき、危険空家の判断等困難な事業の解決を図る際、有識者に具体的に意見を聴取し、最終的に市内でその処理方針を決定する際の判断材料とするもの。	10	9	9
3 豊能町都市計画マスタープラン改定事業	豊能町都市計画マスタープランの改定業務を行う。	0	3,613	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪府の主催する各協議会等の会議に出席し意見交換するとともに、随時綿密な連携を図ることができた。</li> <li>・各種情報収集、知識の習得、事業の相談報告を行うことで、事業の円滑な実施に資することができた。</li> <li>・上位計画との整合や各課が所管している分野別計画などと調整を図り、住民意向調査、パブコメを経て都市計画審議会の意見を反映し都市計画マスタープランを策定することができた。</li> </ul>
--

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	有	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沿道整備・産業誘致重点ゾーンに新たな提案基準（規制緩和ルール）を策定し地域活性化に資する施設の誘致や整備を目指す。</li> <li>・地域の9割が市街化調整区域</li> <li>・関係法令に基づく規制が多い</li> <li>・都市計画法に基づく独自提案基準がさらに必要</li> </ul>
	事業内容	無	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	有	<ul style="list-style-type: none"> <li>用途地域の変更。</li> <li>本町の市街化区域は、住宅地として開発が進み、生活利便施設や賑わい施設等が不足している。そのため、住民は買い物などに車で近隣市への移動を余儀なくされ町内でお金が回らない。開発当初は世帯が若く、ベッドタウンでも良かったが、高齢化が進み、利便性が求められる。</li> </ul>
	事業内容	無	
	費用対効果	無	

5.総合評価

B	<ul style="list-style-type: none"> <li>A：各小事業について計画どおりに進めることが必要</li> <li>B：小事業について、事業の進め方に改善が必要</li> <li>C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要</li> <li>D：大事業全体の抜本的な見直しが必要</li> </ul>
---	---

6.改善の方向性

<p>都市計画マスタープランで示したように、用途地域の変更が求められる。幹線道路沿いの一部を第1種低層住居専用地域から第2種低層住居専用地域に変更することで、日用品店舗や喫茶店など独立した店舗の建築が可能となる。また、近隣公園の用途地域も同様に第2種低層住居専用地域に変更することで、カフェなどの建築が可能となり賑わい憩いの場となると考える。</p> <p>また、今後、廃校となる学校跡地についても現在の用途地域に特別用途地区など重複指定することにより、宿泊施設や商業施設の誘致が可能となることから、企画部局等とも十分に情報共有、連携を行い計画実現に向け取り組む。</p>
--

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 都市計画課  
決算書 161p

大事業名	款	項	目
公園・緑地・街路樹等管理事業	土木費	都市計画費	公園費

総合まちづくり計画	基本指針	1	住民主役のまちをつくり出す“ひとつくり”	関連指標
	基本施策	4	まちを好きと思ってもらえる移住・定住促進	
	施策	10	みんなが「住み続けたい」定住促進	
個別計画	豊能町支障木伐採計画			

1.概要

事業内容	公園・緑地の環境整備、街路樹等の維持管理
対象	住民
意図・目的	住民の日々の暮らしに対し、自然とのふれあいにより生まれる快適、安らぎ、満足を提供する。 緑地の樹木、街路樹の巨木化・落葉対策とそれに対する住民要望の増大。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 公園・緑地・街路樹等管理事業	・除草、剪定等による公園、緑地、街路樹等の維持管理（ときわ台、東ときわ台、光風台、新光風台、希望ヶ丘） ・公園等の美化意図の啓発 ・運営による除草及び剪定作業で発生した刈り草や剪定枝等の有効活用（チップ化、堆肥化による） ・公園等の占有物件について、占用料を徴収し、事業財源の安定化を図る。 魅力ある町づくり、住みたい町への一助となる。	53,633	47,176	0
2 公園管理備品買替事業（100万円未満）	・除草、剪定等による公園、緑地、街路樹等の維持管理（ときわ台、東ときわ台、光風台、新光風台、希望ヶ丘） ・公園等の美化意図の啓発 ・運営による除草及び剪定作業で発生した刈り草や剪定枝等の有効活用 ・魅力ある町づくり、住みたい町への一助となる。	292	65	0
3 支障木伐採業務委託事業	支障木を除去することにより、自然災害を未然に防ぎ、安全性、利便性の向上を図る。落葉の害、支障木の敷地内侵入に対応することができ、住み続けたい住環境整備に寄与できる。	9,984	9,301	0
4 公園遊具修繕事業	町内公園における遊具及びフェンス等を修繕し、公園内の環境を整備する。 公園の遊具に起因する事故等を未然に防止することで、公園内で安心して過ごすことができるようになり、日々の暮らしに安らぎをもたらすことができる。	1,704	338	0
5 緑地擁壁改修事業	ときわ台7号緑地の擁壁改修を行い、擁壁崩壊など未然の事故を防ぐ。	29,755	12,122	12,100

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

緑地・公園の除草及び低木高木の剪定を行い、町内の良好な景観を維持するとともに、家屋や通行の支障となる立木や枯れ木の伐採、被災箇所への補修を行い、安全・安心で快適な暮らしの継続に務めた。  
公園の遊具等の計画的な補修を行い、安全で安心して遊べる空間の確保に務めた。  
台風などによる倒木の際、家屋等に被害を及ぼす恐れのある樹木について、優先度の高いものから順に伐採し安全安心の確保を図った。

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	有	①町管理の緑地に植栽されている樹木が大きくなり民地に越境、根による舗装の不陸、台風などによる倒木など維持管理に多額の費用が必要 ②③近隣住民の勝手な判断により維持管理負担が増加 ④少子高齢化に伴う公園のあり方。ニーズに応じた統合も含めた活用が必要
	事業内容	有	
	費用対効果	有	
中長期的な課題	進捗管理	有	住宅地周辺緑地の立木の伐採等の検討。樹種等（桜など）により住民の反対があり、その都度の対応を迫られ維持管理の負担が増える。
	事業内容	有	
	費用対効果	有	

5.総合評価

B	A: 各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B: 小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C: 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D: 大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

・付近住民の清掃等の協力  
・自治会に日頃から緑地・公園管理事業について啓発を図る。（公園美化活動報奨金のあり方）  
  
・支障木伐採計画に基づき、優先度の高い樹木から順に伐採し、倒木などによる家屋被害を未然に防止し、併せて維持管理費の低減を図る。

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 都市計画課  
決算書 163p

大事業名	公共施設等花いっぱい運動推進・支援事業	項 目		
		款	項	目
		土木費	都市計画費	公園費

総合まちづくり計画	基本指針	1	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”	関連指標
	基本施策	4	まちを好きと思ってもらえる移住・定住促進	
	施策	10	みんなが「住み続けたい」定住促進	
個別計画				

1.概要

事業内容	公共施設等花いっぱい運動の支援。
対象	住民
意図・目的	町の美化、住民の心の癒しを提供する。 事業の飽和化。元々、緑豊かな豊能町において本運動を展開する意義が問われている。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 公共施設等花いっぱい運動推進・支援事業	花と緑の町「とよの」のシンボル運動として、公共施設等花いっぱい運動を住民主体の活動として支援する。 本運動の推進により、住民に心の癒しを提供することができる。また、副次的な効果として、町道の美化ボランティアとしての活動も期待できる。	340	324	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

<p>移植用プラグ苗の導入、花の種（秋用・冬用）の購入、土（肥料）の購入。 花いっぱい運動の賛同者、グループの支援を行った。 育苗施設のビニール張り替えなどを行い花ボランティアの活動を支援した。</p>
---

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	有	①修繕の必要性及び老朽化 ②維持管理はすると住民が自ら植えた花、樹木等が高齢化で維持管理できなくなり、町にしわ寄せが来ている ③ボランティアが植えた花苗が盗まれている
	事業内容	有	
	費用対効果	有	
中長期的な課題	進捗管理	有	花ボランティア用に設置した育苗施設であるが、維持管理は町が主に行っている。日下町長時代にスタートした事業であるが、その時の財政状況とは異なり、職員直営でビニールハウスを張り替えたり、育苗施設に日が当たらなくなると樹木の伐採まで直営で対応している。
	事業内容	有	
	費用対効果	有	

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>・光風台育苗施設の定期点検による予防保全</li> <li>・住民が自ら植え維持管理できなくなったものについては伐採する</li> </ul>
--

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 都市計画課  
 決算書 163p

大事業名	交通安全対策事業		款	項	目
			土木費	都市計画費	交通安全対策費
総合まちづくり計画	基本指針	3	緑の中で楽しく暮らせる“まちづくり”		
	基本施策	1	住民のQoL向上をめざしたコンパクトなまちづくり		
	施策	22	安全・安心なまちの基盤整備		
個別計画					

1.概要

事業内容	交通安全の啓発。
対象	町全域、全住民
意図・目的	交通安全の確保。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 交通安全対策事業	府、豊能警察署、豊能交通安全協会、自治会等と連携し町内の交通安全の啓発を行う。 春・秋の交通安全運動及び啓発物品配布を含む街頭キャンペーンの実施。 春・秋の交通安全運転講習会の実施。 春・秋の迷惑駐車合同追放パトロールの実施。 高齢者の交通安全対策。	990	458	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

<p>○新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から以下の事業を中止</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全啓発キャンペーン（春・秋）</li> <li>迷惑駐車追放合同パトロール（春・秋）</li> <li>安全運転講習会（春・秋）</li> </ul> <p>○実施事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>チラシの配布</li> </ul>
---

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	有	豊能町交通事故をなくす運動推進本部会議の規約・組織改正を行い組織のスリム化、業務の見直しが必要。 行政機関のみの運営とされ他は協力団体と位置づけ。関係団体（20団体）も多く毎年担当者が変わるなど連絡も取れず引継ぎがなされていない状況が続く。 事務局が直接各団体や担当者に連絡を取ることができないケースもある。 趣旨に見合わない内容の業務も含まれている。
	事業内容	有	
	費用対効果	有	
中長期的な課題	進捗管理	有	交通安全の様々な取組みに対し、主体的となる関係団体の活動に対して協力して行く体制構築が必要。 高齢化等に伴う人員不足。
	事業内容	有	
	費用対効果	有	

5.総合評価

B	<p>A：各小事業について計画どおりに進めることが必要</p> <p>B：小事業について、事業の進め方に改善が必要</p> <p>C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要</p> <p>D：大事業全体の抜本的な見直しが必要</p>
---	--

6.改善の方向性

町と警察の2行政と自治会等と連携協力しながら啓発活動を継続していく。
------------------------------------

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 都市計画課  
 決算書 163p

大事業名	自転車駐車場管理事業	款	項	目
		土木費	都市計画費	自転車駐車場運営費

総合まちづくり計画	基本指針	3	緑の中で楽しく暮らせる“まちづくり”	関連指標
	基本施策	1	住民のQoL向上をめざしたコンパクトなまちづくり	
	施策	22	安全・安心なまちの基盤整備	
個別計画				

1.概要

事業内容	自転車駐車場（光風台・ときわ台・妙見口の各駅前）の運営。
対象	自転車駐車場利用者
意図・目的	適正な自転車駐車場を管理するため、施設の修繕や設備の保守管理を行う。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 自転車駐車場管理事業	自転車駐車場の管理。	560	570	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

自転車駐車場の適正な維持管理に努めた。
---------------------

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	有	閉鎖した光風台第1自転車駐車場の管理 H29年度に構造検討業務を実施し、耐力低下が認められる部材があり、現行基準に基づく構造強度を満たしていない結果となった当該施設の取り壊しなどの方針が定まっていない。
	事業内容	有	
	費用対効果	有	

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

閉鎖後の光風台第1駐車場の利活用や処分等の検討。
--------------------------

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 都市計画課  
 決算書 163p

大事業名	款	項	目
自転車駐車場運営事業	土木費	都市計画費	自転車駐車場運営費

総合まちづくり計画	基本指針	3	緑の中で楽しく暮らせる“まちづくり”	関連指標
	基本施策	1	住民のQoL向上をめざしたコンパクトなまちづくり	
	施策	22	安全・安心なまちの基盤整備	
個別計画				

1.概要

事業内容	自転車駐車場（光風台・ときわ台・妙見口の各駅前）の運営。
対象	自転車駐車場利用者
意図・目的	自転車駐車場利用者に、安全・安心に利用してもらうことを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 自転車駐車場運営事業	自転車駐車場の運営。	2,749	1,510	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

各自転車駐車場の施設利用状況等を確認し、適切な運営を行うため施設利用者に対する啓発等を行った。
---

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	有	ときわ台駅前自転車駐車場の ・想定を上回る利用者の増加 ・駐車区分を無視した利用
	事業内容	有	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	有	光風台駅前自転車駐車場も原付バイクの利用者が増加傾向にある。 ・想定を上回る利用者の増加
	事業内容	有	
	費用対効果	無	

5.総合評価

C	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

新たな駐車スペースの確保。
---------------

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 都市計画課  
 決算書 205p

大事業名	公園施設災害復旧事業	款	項	目
		災害復旧費	公共土木施設災害復旧費	公園施設災害復旧費

総合計画 まちづくり 計画	基本指針	3	緑の中で楽しく暮らせる“まちづくり”	関連 指標
	基本施策	1	住民のQoL向上をめざしたコンパクトなまちづくり	
	施策	22	安全・安心なまちの基盤整備	
個別計画				

1.概要

事業内容	緑地の災害対策工事。
対象	住民
意図・目的	被災した緑地の復旧工事を行う。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 公園施設災害復旧事業	令和2年7月豪雨により被災した、光風台6丁目17番地の緑地の復旧工事を行う。	126,115	219,669	219,669

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

被災した緑地の復旧工事を実施し、住民の安全・安心を図った。
-------------------------------

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
	進捗管理	無		
中長期的な課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
	進捗管理	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

--



令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 農林商工課  
決算書 141p

大事業名	労働支援事業	款 項 目		
		労働費	労働諸費	労働諸費

総合まちづくり計画	基本指針	2	未来の活力を生み出す“しごとづくり”	関連指標
	基本施策	2	人や仕事を呼び込むテレワークの推進	
	施策	15	新しい人と働き方の受け入れ	
個別計画				

1.概要

事業内容	若者や障害者に対して「雇用・就労・労働相談」を行い、就労困難者のサポートを行う。
対象	勤労者、障害者及びその関係者、事業主等
意図・目的	就労困難者の雇用・就労の促進や自立・ステップアップを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 労働支援事業	ハローワーク、大阪府総合労働事務所等との連携。 地域障害者雇用相談の実施。 豊能・三島地域就労活性化事業の実施。 労働者及び未就労者の支援。	197	200	101

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

【実績】			
障害者雇用相談	実施日時	第3水曜日（4・5・1月を除き9回実施）	13:00~17:00
	場所	保健福祉センター	
	相談件数	5件	
とよの地域若者サポートステーション就労相談	実施日時	11月25日(金)	13:30~16:30
	場所	保健福祉センター	
	相談件数	1件	

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

<b>A</b>	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
----------	---

6.改善の方向性

件数自体は少ないものの、相談窓口は必要と考えるので継続して設置する。
------------------------------------

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 農林商工課  
決算書 141p

大事業名	シルバー人材センター 支援事業		款	項	目
			労働費	労働諸費	労働諸費
総合 まち づくり 計画	基本指針	1	住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”		
	基本施策	2	いつまでも健康で、みんなが活躍するまち		
	施策	4	いつでも生きがいがある健康寿命延伸		
個別計画					

1.概要

事業内容	シルバー人材センターへ補助金の交付及び貸付を行う。
対象	シルバー人材センター
意図・目的	高齢者の勤労意欲と住民のニーズを結びつけるシルバー人材センターの活動を支援し、もって高齢者の就業機会の増大を図る。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 シルバー人材センター 支援事業	シルバー人材センターへの支援として、補助金の交付及び貸付を行う。	5,922	5,922	2,000

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

●シルバー人材センターへの補助金	3,922,000円
●シルバー人材センターへ運営資金貸付	2,000,000円
●シルバー人材センターの状況	
・会員の状況	
会員数（R5.3.31現在）	男 82人 女 39人 計 121人
平均年齢	男 73.8歳 女 70.8歳 計 72.8歳
就業延べ人数	7,949人

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の 課題	進捗管理	無	老後の生きがいづくり（活動趣向）の多様化 役員の成り手不足
	事業内容	有	
	費用対効果	有	
中長期 的な課 題	進捗管理	無	安定的な運営 財政状況が脆弱
	事業内容	有	
	費用対効果	有	

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

安定した運営のため、組織の強化が必要。
---------------------

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 農林商工課  
決算書 143p

大事業名	農業委員会運営事業	款 項 目		
		農林水産業費	農業費	農業委員会費

総合まちづくり計画	基本指針	3	緑の中で楽しく暮らせる“まちづくり”	関連指標
	基本施策	1	住民のQoL向上をめざしたコンパクトなまちづくり	
	施策	23	持続可能な行財政運営の推進	
個別計画				

1.概要

事業内容	農地法に関する農地行政の執行、農地等の利用の最適化を図るため、農業委員会の運営を行う。
対象	町内の農地及び農地所有者・農業従事者
意図・目的	農地等の利用の最適化を推進し、農地制度に関する業務執行の全国的な統一性・客観性を確保する。

2.構成事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 農業委員会運営事業	農地法等に関する業務。 農地の権利関係の調整、土地利用の調整。 農業、農業者の代表機関としての業務。 農地パトロール。 耕作放棄地の解消による農業の振興。	2,460	2,505	1

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

<p>【実績】</p> <p>[構成] 農業委員数：14名 農地利用最適化推進委員：4名（令和5年3月31日現在）                  農業委員会の開催状況：原則月1回開催 計 8回（令和4年）                  農地パトロールの実施：8月22日～9月8日の間に延べ14日間</p> <p>令和4年度に遊休農地から耕作地へと活用された農地の面積                  田：23,073㎡ 畑：505㎡ 計 23,578㎡</p>
---

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	事業内容		
現状の課題	有	有	遊休農地の増加。 担い手不足。	新規就農者が出現しているものの、農業従事者の高齢化と担い手不足による遊休農地が依然増加傾向にある。
	有	有		
	無	無		
中長期的な課題	有	有	同上	今後も農業従事者の高齢化と担い手不足の問題は避けられない。
	有	有		
	無	無		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

農地法等によりその権限に属させられた事項（農地の売買・貸借の許可、農地転用案件への意見具申、遊休農地に関する措置など）について適正な農業委員会の運営を行いつつ、地域農業を守るために地域計画作成を支援し、農地等の利用の最適化の推進に努める。
---

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 農林商工課  
決算書 143p

大事業名	農業関係団体等支援事業	款		項		目	
		農林水産業費		農業費		農業振興費	

総合 まち づくり 計画	基本指針	3	緑の中で楽しく暮らせる“まちづくり”	関連 指標	
	基本施策	1	住民のQoL向上をめざしたコンパクトなまちづくり		
	施策	23	持続可能な行財政運営の推進		
個別計画					

1.概要

事業内容	農業団体及び農業振興事業に対する補助、支援を行う。
対象	農業振興事業を行う農業団体等
意図・目的	負担金及び補助金の交付により農業関係団体等の活性化と地域農業の振興に寄与することを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 農業関係団体等支援事業	町農業団体及び農業振興事業に対する補助及び支援、並びに負担金の拠出。	1,174	1,189	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

【実績】	
府農空間整備推進協議会負担金	20,000円
能勢栗振興会負担金	35,000円
府農業共済組合負担金	819,000円
共同作業場運営補助金	135,000円
町土地改良区運営補助金	135,000円
高山伝統野菜生産者組合	45,000円

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

--

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 農林商工課  
決算書 145p

大事業名	農業振興事業	款 項 目		
		農林水産業費	農業費	農業振興費
総合まちづくり計画	基本指針	2	未来の活力を生み出す“しごとづくり”	
	基本施策	4	地域産業を元気にする6次産業化	
	施策	18	新しい農業でつくる「とよのブランド」	
	個別計画			

1.概要

事業内容	農業振興事業関係全般に係る事務。 認定農業者、新規就農者の育成、支援。 農地流動化、集積化の推進。
対象	農業関係者
意図・目的	農業振興全般に係る業務の円滑な推進を図る。 新規就農者等への支援、認定農業者数の拡大を目指すとともに、農用地利用集積を図り、効率的で持続可能な農業経営を促進する。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 農業振興事業	農業関係全般に係る事務。 農業従事者、新規就農者、認定農業者の相談・支援。 生産意欲の向上、高収益化の推進。 農地貸借希望者間の調整。	115	132	0
2 青年就農給付金交付事業	地域農業の担い手として、青年等就農計画の認定を受けた新規就農者に対して、農業経営を支援するため給付金を支給する。青年の就農意欲の喚起を図り、青年就農者の増大を図る。	3,750	4,500	4,500
3 とよの就農支援塾事業	就農を目指す方に、実習を交えた果菜類の生産技術・経営管理等について講義を行い、地域農業の担い手を育成する。新規就農にあたってのフォローを行う。	2,948	2,965	2,948
4 新規就農促進安定支援事業	町内農地の利用権設定等をしている（または見込まれる）新規就農者に対し、農業の生産性の向上及び農業経営の安定化を図ることを目的に農業機械等購入費用の一部を補助する。	750	567	567
5 農業法人設立支援事業	農業法人等の設立を目指し、直売所「志野の里」運営を支援する。	2,007	1,903	0
6 農業用園芸ハウス設置補助事業	年間を通しての農産物の生産安定化及び品質の向上を図るため、町内の直売所等へ出荷することを条件に農業用園芸ハウスの設置にかかる費用の一部を補助する。	0	1,843	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

【実績】	<ul style="list-style-type: none"> <li>認定農業者数： 28名（国版13名、府版15名）R5.7.1現在</li> <li>青年等就農給付金受給者数： 4名 4,500,000円</li> <li>就農支援塾受講者数： 12名（開校日数30日/年、うち卒塾者10名）</li> <li>これまでの卒塾生のうち、年度内に新規就農に至った者の数： 6名</li> <li>新規就農促進安定事業補助件数及び金額： 3件 567,000円</li> <li>志野の里（直売所運営協議会）の売上額： 19,793,588円</li> <li>農業用園芸ハウス設置補助件数及び金額： 6件 1,843,000円</li> </ul>
------	---

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	有	農業の担い手不足。 農作物の生産能力強化と高収益化。 後継者（高齢化等）問題、収益化の問題。 設備投資と農地の集約化、加工品など農作物の付加価値化。
	事業内容	有	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	有	生業としての農業の確立。（所得増） 生産の高効率化と安定した農産物等流通ルートの確立。
	事業内容	有	
	費用対効果	無	

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

<p>担い手問題については、とよの就農支援塾の卒塾生を中心に町内で新たに耕作に取り組む者も増えており、付随する事業（青年等就農給付金、新規就農促進安定事業など）も含め、継続実施していくとともに、生産力強化・安定生産のためのビニールハウス設置への支援と販路としての直売所の運営支援も継続実施する。</p> <p>[長期的な視点]</p> <p>全国で農地の遊休農地化が問題視されている。その要因は後継者問題にあるが、後継者問題を生んでいる要因の一つとして、生業として農業を営むことが極めて困難である状況が挙げられる。</p> <p>大規模生産地域に比べ生産性はかなり劣る本町ではあるが、その状況下でも農地の集積化、担い手への集約化で農業の省力化・効率化でコストダウンと生産性のアップを図り、都市近郊という立地面での優位性を活かした農業や単なる生産だけではなく加工を施すことにより付加価値をつけるなど、豊能町で生計を立てることが可能な農業を見出ししていく必要がある。</p>
---

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 農林商工課  
決算審 145p  
目

大事業名	棚田・ふるさと保全事業	款	項	目
		農林水産業費	農業費	農地費

総合まちづくり計画	基本指針	3	緑の中で楽しく暮らせる“まちづくり”	関連指標
	基本施策	3	低炭素社会の実現による持続可能なまちづくり	
	施策	27	豊かな自然を大切にすまちづくり	
個別計画				

1.概要

事業内容	棚田保全活動、棚田景観PRや都市住民との交流を通じて、地域の活性化を図る団体への補助（高山・牧地区）を行う。
対象	保全活動団体
意図・目的	棚田保全事業グループの活動を支援し、地区内遊休農地の再生、草刈等の維持保全活動の推進を目的とする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 棚田・ふるさと保全事業	遊休農地の再生、棚田の保全を行う団体への補助。棚田保全活動を通じ、棚田景観のPR、都市住民との交流、地域の活性化を図る。	600	600	600

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

【実績】棚田保全3団体への補助			
農のふるさと協力隊	実施状況	年40回	延べ300人
	実施場所	高山地区	
棚田管理チーム	実施状況	年42回	延べ463人
	実施場所	高山南地区	
牧棚田保全チーム	実施状況	年6回	延べ133人
	実施場所	牧地区	

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	

5.総合評価

<b>A</b>	<p>A：各小事業について計画どおりに進めることが必要</p> <p>B：小事業について、事業の進め方に改善が必要</p> <p>C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要</p> <p>D：大事業全体の抜本的な見直しが必要</p>
----------	--

6.改善の方向性

--

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 農林商工課  
決算書 145p

大事業名	農空間保全事業	款 項 目		
		農林水産業費	農業費	農地費

税 含 ま ち づ く り 計 画	基本指針	3	緑の中で楽しく暮らせる“まちづくり”	関 連 指 標
	基本施策	3	低炭素社会の実現による持続可能なまちづくり	
	施策	27	豊かな自然を大切にすまちづくり	
個別計画				

1.概要

事業内容	農地・農業用水路・農道・ため池等の地域資源の保全活動を行う団体を支援する。
対象	保全活動を行う団体
意図・目的	農地・農業用水路・農道・ため池等の地域資源の適切な保全管理を行うことを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 農空間保全事業	農用地、水路、農道等地域資源の維持を図るため、保全活動を行う団体へ補助金を交付する。（多面的支払交付金）	494	494	371
2 中山間地域等直接支払制度事業	農業生産条件の不利益な中山間地域等（棚田振興法に基づく地域指定を受けた地区）において、農用地を維持・管理していくための活動を行う場合に、その面積に応じて補助金を交付する。	2,501	2,501	1,875

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

【実績】
・多面的支払交付金（1団体） 対象面積：1,647a 活動内容：水路の泥上げ、農用地法面・農道草刈り、有害獣防止柵点検など
・中山間地域等直接支払交付金（1団体） 対象面積：1,572a 活動内容：共同機械購入積立金ほか

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	費用対効果		
現状の課題	無	無		
中長期的な課題	無	有	各地区への普及拡大。	事業採択のハードルが高い。

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大企業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

大阪府との連携により、取組地域の拡大を図る。
------------------------

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 農林商工課  
決算書 147p

大事業名	ほ場整備事業	項 目		
		農林水産業費	農業費	農地費

総合まちづくり計画	基本指針	2	未来の活力を生み出す“しごとづくり”	関連指標
	基本施策	4	地域産業を元気にする6次産業化	
	施策	18	新しい農業でつくる「とよのブランド」	
個別計画				

1.概要

事業内容	農業生産性の向上・生産コストの低減・農業構造の改善・食糧供給力の確保のため、ほ場整備事業を行う。
対象	事業対象地区農地所有者
意図・目的	農業生産性の向上・生産コストの低減・農業構造の改善・食糧供給力の確保のため、ほ場整備事業を行う。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 牧地区ほ場整備事業	牧地区のほ場整備事業において、ほ場整備工事(第1期)を実施。	4,058	13,516	13,500
2 高山地区ほ場整備事業	高山地区ほ場整備事業において測墨実施設計、換地計画の作成、文化財試掘調査を実施。	0	1,076	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

牧地区：第1期工事 （4-1工区）実施面積4.7ha （4-2工区）実施面積2.2ha  高山地区：測墨実施設計、換地計画の作成、文化財試掘調査
--

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	有		
現状の課題	事業内容	無	国費が予定通り予算が付かない。	国費の関連予算の配分問題。
	費用対効果	無		
	進捗管理	無		
中長期的な課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
	進捗管理	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

国、府に対し要望を行っている。
-----------------



令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 農林商工課  
決算書 147p

大事業名	経営所得安定対策等推進事業	款		項	目
		農林水産業費		農業費	経営所得安定対策等推進事業費

総合まちづくり計画	基本指針	2	未来の活力を生み出す“しごとづくり”	関連指標
	基本施策	4	地域産業を元気にする6次産業化	
	施策	18	新しい農業でつくる「とよのブランド」	
個別計画				

1.概要

事業内容	経営所得安定対策等事業の実施と普及促進。
対象	農業関係者
意図・目的	諸外国との生産条件の格差から生ずる不利の補正と農業経営のセーフティネット対策を実施し、担い手農家の経営の安定に資する。また、戦略作物の本作化を進め、水田をフル活用し、食料自給率・食料自給力の維持向上を図る。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定課題
1 経営所得安定対策等推進事業	農業経営のセーフティネット対策と出荷販売のための戦略作物、高収益作物に対する助成事業の事務。	748	2,459	2,459

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

【実績】 令和4年度 地域戦略(推奨)作物作付面積：32,693㎡（13人） （令和3年度：18,147㎡（17人））  収入減少影響緩和交付金の申請をした者の数：3人 （令和3年度： 3人）
---

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	事業内容		
現状の課題	無	有	水田活用の直接支払交付金の申請が少ない。 水稲作付に代わる野菜等の畑作が進んでいない。	制度の周知不足及び交付対象作物の飼料用米や加工用米の需要がないことが要因である。 野菜等の畑作化についても農業従事者の高齢化及び担い手不足、獣害などでなかなか推進できていない。
	無	無		
	無	無		
中長期的な課題	無	無		
	無	無		
	無	無		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

制度の周知に一層注力し、制度の利用者増を図る。 大阪工コ農産物や地域振興拡大作物及び豊能町特産のヤーコンの生産の拡大を図ることで農業生産面積の拡大につなげる。併せて、遊休農地や保安全管理のみの不耕作地の解消にもつなげる。
---

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 農林商工課  
決算書 147p

大事業名	コミュニティセンター 管理事業	款	項	目
		農林水産業費	農業費	コミュニティセンター運営費

総合 まち づくり 計画	基本指針	3	緑の中で楽しく暮らせる“まちづくり”	関連 指標
	基本施策	2	人が活躍できる地域コミュニティづくり	
	施策	24	地域のつながりを活かしたコミュニティの活性化	
個別計画				

1.概要

事業内容	高山コミュニティセンターの管理運営を行う。
対象	コミュニティセンター来館者
意図・目的	地元住民の集いの場としての機能を発揮できるよう、適正に高山コミュニティセンターの管理運営を行うことを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 コミュニティセンター 管理事業	地元住民の集いの場としての機能を十分に発揮できるように、コミュニティセンターの管理運営を行う。	5,127	2,520	0
2 コミュニティセンター 整備事業	コミュニティセンターとしての機能を発揮できるように、改修工事を行う。	0	50,290	50,240

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

【実績】	・開館日数	: 130日	
	・延べ利用者数	: 760人	
	・イベント開催状況	: 5月 1日 たけのご掘り体験	97名
		6月26日 じゃがいも掘り体験	75名
		8月21日 夏野菜収穫体験	6名
		10月23日 さつまいも掘り体験	57名
		11月20日 ごぼう掘り体験	32名
		12月11日 冬の真菜摘み体験	20名

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の 課題	進捗管理	無	サービスの向上と魅力ある事業の展開。 リニューアルに伴い、民間事業者等のノウハウを運営に活かしたい。
	事業内容	有	
	費用対効果	無	
中長期 的な課 題	進捗管理	無	地域コミュニティの活性化と観光拠点としての運営。 当初の構想と現状との隔たりあり。規模縮小に見合った運営の再構築が必要。
	事業内容	有	
	費用対効果	無	

5.総合評価

C	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

改修工事に伴い、指定管理者制度による管理運営を一旦中止していた。 民間のノウハウを活かした利用者へのサービス向上と経費削減の可能性を考慮し、指定管理者制度をはじめとした管理方法を検討する。 また、開館当初の構想との隔たりもあることから、運営について再度構築することと、観光の観点からもその拠点としての役割も発揮できるようなことも検討する必要があると考える。
--

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 農林商工課  
決算書 149p

大事業名	森林管理事業	款 項 目		
		農林水産業費	林業費	林業総務費

総合まちづくり計画	基本指針	3	緑の中で楽しく暮らせる“まちづくり”	関連指標
	基本施策	3	低炭素社会の実現による持続可能なまちづくり	
	施策	27	豊かな自然を大切にするまちづくり	
個別計画				

1.概要

事業内容	森林等の自然環境の保全を行うとともに、鳥獣の保護・管理に関する事務を行う。
対象	森林及び鳥獣
意図・目的	自然環境の保全、水資源のかん養等の多様な公益的機能の管理振興を図るため、関連団体に参加・加盟するとともに、鳥獣保護法に基づく生物の保護・管理を目的とする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 森林管理事業	森林及び鳥獣の管理に関する事務。 森林整備等関係団体に関する事務。 鳥獣の保護及び狩猟の適正化。	905	375	10

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

【実績】	・府治山治水協会負担金 160,000円
	・日本さくらの会賛助会費 5,000円

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

--

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 農林商工課  
決算書 149p

大事業名	森林整備事業	款	項	目
		農林水産業費	林業費	林業総務費

総合まちづくり計画	基本指針	3	緑の中で楽しく暮らせる“まちづくり”	関連指標
	基本施策	1	住民のQoL向上をめざしたコンパクトなまちづくり	
	施策	22	安全・安心なまちの基盤整備	
個別計画	豊能町森林整備計画 豊能町森林整備に係る実施計画			

1.概要

事業内容	森林の災害防止・国土保全機能を早急に強化する観点から、森林環境譲与税を活用し、森林の適切な管理に努めるとともに、間伐等の森林整備を推進する。
対象	森林及びその所有者
意図・目的	森林の適切な管理及び整備を推進することにより、森林の持つ公益的機能の高度発揮・災害防止・国土保全機能を強化する。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 森林整備事業	森林の適切な管理を図るため、現状を把握、整理した地番参考図の作成を進めるとともに、令和3年度に策定した森林整備方針に基づき、防災上必要とされる箇所等について間伐整備を行う。	3,518	7,106	1,290

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

【実績】	
地番参考図策定業務（寺田地内・2林班）	4,906,000円
間伐の実施（寺田地内・2.78ha）	1,705,000円
倒木・枯損木除去及び危険木処理（川尻・吉川地内・17箇所）	495,000円

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	有	国内林業の減退と林業の担い手の不足。森林所有者の高齢化と関心がない所有者の増加。
	事業内容	無	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	有	林業の担い手不足、森林所有者の高齢化、所有者不明の山林の増加。
	事業内容	有	
	費用対効果	無	

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

森林組合、大阪府等との連携を図り、森林環境譲与税や有効な補助制度を活用するなどし、健全な森林育成・保全・減災に努める。
---

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 農林商工課  
決算書 149p

大事業名	野生鹿、猪等農林業被害防止事業	款 農林水産業費	項 林業費	目 林業総務費
------	-----------------	-------------	----------	------------

総合まちづくり計画	基本指針	2	未来の活力を生み出す“しごとづくり”	関連指標
	基本施策	4	地域産業を元気にする6次産業化	
	施策	19	「とよのブランド」をまちの魅力に	
個別計画	豊能町鳥獣被害防止計画			

1.概要

事業内容	農林業に被害を与えている有害鳥獣（イノシシ・シカ・アライグマ・ヌートリア）の捕獲を行う。
対象	農林業従事者等
意図・目的	有害鳥獣の生息頭数の適正化を目指した捕獲を推進することで、農林業被害の防止を図ることを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 野生鹿、猪等農林業被害防止事業	生息頭数の適正化を目指した有害鳥獣の捕獲。 シカ・イノシシ用の捕獲檻を被害の多い農家に貸出、農林業被害の軽減を図る。 獣害柵購入費用の一部を助成し、有害鳥獣からの農林業被害の軽減を図る。	5,182	4,262	652

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

【実績】	<ul style="list-style-type: none"> <li>有害鳥獣捕獲実績 <table border="1"> <tr> <td>イノシシ</td> <td>20頭</td> </tr> <tr> <td>シカ</td> <td>150頭</td> </tr> <tr> <td>アライグマ</td> <td>6頭</td> </tr> <tr> <td>ヌートリア</td> <td>0頭</td> </tr> </table> </li> <li>シカ・イノシシ用捕獲檻貸出件数： 0件</li> <li>アライグマ用捕獲檻貸出件数： 4件</li> <li>獣害柵設置補助件数： 5件（231,000円）</li> <li>有害鳥獣捕獲従事者数： 16人（R5.4現在）</li> </ul>	イノシシ	20頭	シカ	150頭	アライグマ	6頭	ヌートリア	0頭
イノシシ	20頭								
シカ	150頭								
アライグマ	6頭								
ヌートリア	0頭								

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	有	鳥獣被害の継続と有害鳥獣捕獲従事者の後継者不足。 有害鳥獣の増加と有害鳥獣捕獲従事者（猟友会会員）の高齢化。
	事業内容	無	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	有	同上
	事業内容	無	
	費用対効果	無	

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

有害鳥獣の捕獲並びに防護柵設置は進めているものの、特に鹿の繁殖力が高く、依然農林業への被害は絶えない状況である。 農林業被害の減少のため有害鳥獣捕獲活動を年間を通じた活動にし、生息頭数の適正化に努める必要がある。引き続き、施策の継続が必要である。
--

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 農林商工課  
決算書 151p

大事業名	内水面事業	款 項 目		
		農林水産業費	水産業費	水産業費

総合まちづくり計画	基本指針	2	未来の活力を生み出す“しごとづくり”	関連指標
	基本施策	3	地域経済を循環させる	
	施策	17	地域にお金を呼び込む仕組みづくり	
個別計画				

1.概要

事業内容	河川を利用した町民の環境保全意識啓発イベントの開催、及び東能勢漁業協同組合の活動に対する支援を行う。
対象	町民、並びに東能勢漁業協同組合
意図・目的	河川への関心及び環境保全への意識の高揚、並びに内水面漁業の振興を図ることを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 内水面事業	東能勢漁業協同組合の運営、活動に対する補助。	63	46	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

【実績】
あゆ放流・つかみ取り体験事業 新型コロナウイルス感染症の影響により中止
余野川清掃 実施日 令和4年7月30日、令和5年3月19日 実施場所 余野川女美尾橋下流

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	後継者不足。 組合員の高齢化。
	事業内容	有	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	無	漁業組合の今後の事業方針。 同上。
	事業内容	有	
	費用対効果	無	

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

将来的には、観光施策の推進の一助となるような事業を検討していく。
----------------------------------

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 農林商工課  
決算書 151p

大事業名	商工事務事業	款 項 目		
		商工費	商工費	商工総務費

総合まちづくり計画	基本指針	2	未来の活力を生み出す“しごとづくり”	関連指標
	基本施策	3	地域経済を循環させる	
	施策	16	地域でお金が回る仕組みづくり	
個別計画				

1.概要

事業内容	商工会への運営補助のほか、大阪府中小企業融資に関する事務や工場立地法等に関する事務を行う。
対象	商工会及び町内事業者
意図・目的	商工業の振興を図るため、商工会との連携や活動支援を行い、町内商工業者の経営基盤の強化を図る。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 商工事務事業	商工業の振興施策に係る企画及び調整。 商工に関する事務、商工会への運営補助。 大阪府中小企業融資に関する事務。 商工会法、工場立地法等に関する事務。	3,679	3,313	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

【実績】
・町商工会への補助金： 3,311,000円

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

--

令和4年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 農林商工課  
決算書 151p

大事業名	観光事務事業	款		項		目	
		商工費		商工費		商工総務費	
総合まちづくり計画	基本指針	3	緑の中で楽しく暮らせる“まちづくり”				関連指標
	基本施策	4	交流人口の増加で新たな風土づくり				
	施策	28	魅力ある観光資源の発掘と活用				
個別計画							

1.概要

事業内容	町外からの観光人口の増加による地域の活性化を図るため、観光協会をはじめとする観光団体を支援する。また、近隣観光協会との連携を図り、町外での活動を活性化する。
対象	観光客、観光協会
意図・目的	町民及び町外の来訪者に対して、話題性のある観光事業を展開し、本町の魅力を効果的に発信していく必要があるため、観光協会が実施する観光案内事業、観光ボランティアガイド養成事業、観光資源の発掘や観光振興に基づく事業を支援することにより交流人口が増えるまちづくりを目指す。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R03決算	R04決算	うち特定財源
1 観光事務事業	町観光事業の推進、町観光協会との連携。 大阪府、大阪観光局との連携。 近隣市町との広域連携事業、町観光地整備及び観光の展開。	1,881	1,761	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

【実績】	
大阪観光局負担金	30,000円
妙見口駅トイレ維持管理負担金	476,346円
町観光協会補助金	1,255,000円

4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	事業内容		
現状の課題	進捗管理	無	観光拠点の整備と観光ルートの開発。	観光ルートの開発については、東西間の移動手段が乏しいことがネックとなっている。 また、マンパワーと財政面が極めて脆弱である。
	事業内容	有		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無	近隣市町との観光ルートの創出。	近隣市町と連携した新たな観光資源、ルートの開発が重要となる。
	事業内容	有		
	費用対効果	無		

5.総合評価

B	<p>A：各小事業について計画どおりに進めることが必要</p> <p>B：小事業について、事業の進め方に改善が必要</p> <p>C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要</p> <p>D：大事業全体の抜本的な見直しが必要</p>
---	--

6.改善の方向性

<p>町内観光ルートを構築（東西間の移動手段も含め）することも必要だが、当町だけでは観光資源に限られるため、近隣市町も含めた広域での事業展開を進めることも検討する。</p> <p>マンパワーと財政面が極めて脆弱であるので、改善が必要。</p>
---